

2015年12月期決算説明会

2016年2月4日

日本電気硝子株式会社

2015年12月期業績概要

連結業績のポイント

- 景気動向

(世界経済)

欧米：堅調な個人消費・雇用情勢の改善などを背景に回復基調

中国：輸出や固定資産投資の減少などを背景に減速感

(国内経済)

個人消費が底堅く推移。企業収益や雇用情勢が改善、景気は緩やかに回復

- 業績

売上高：ガラスファイバ、光関連を中心に堅調に推移

営業利益：生産性改善や費用削減などが寄与

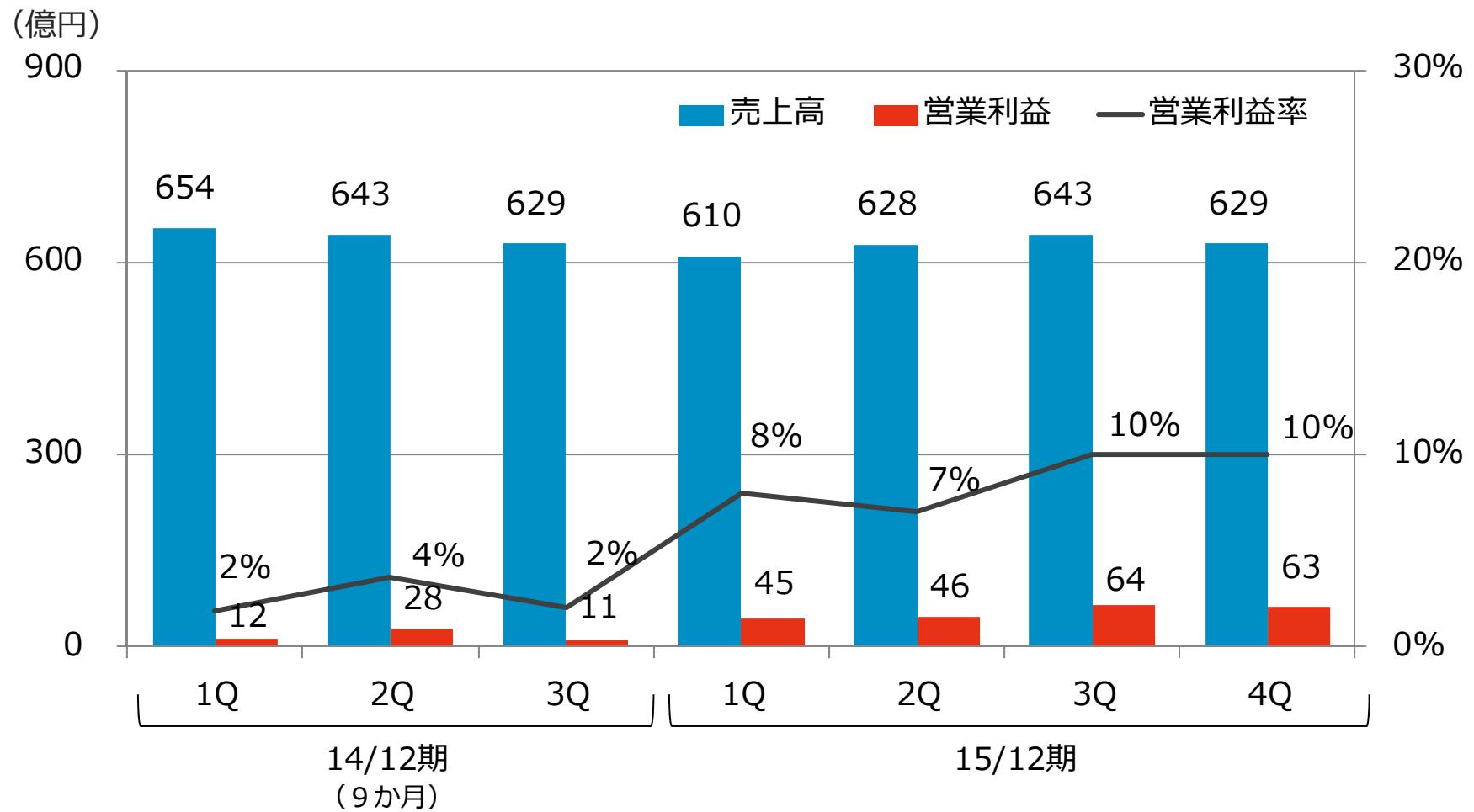
連結業績の概要

(億円)

	14/12期 (9か月)	15/12期 (12か月)
売上高	1,926	2,511
営業利益 (利益率)	52 (3%)	220 (9%)
経常利益	68	142
特別損益	23	25
税前利益	91	167
当期純利益	59	96
1株当たり当期純利益	11.94円	19.38円
純資産	5,225	5,198
自己資本比率	70.2%	70.6%
1株当たり配当金	年間12円	年間16円

14/12期：2014年4月～12月、15/12期：2015年1月～12月

四半期業績の推移

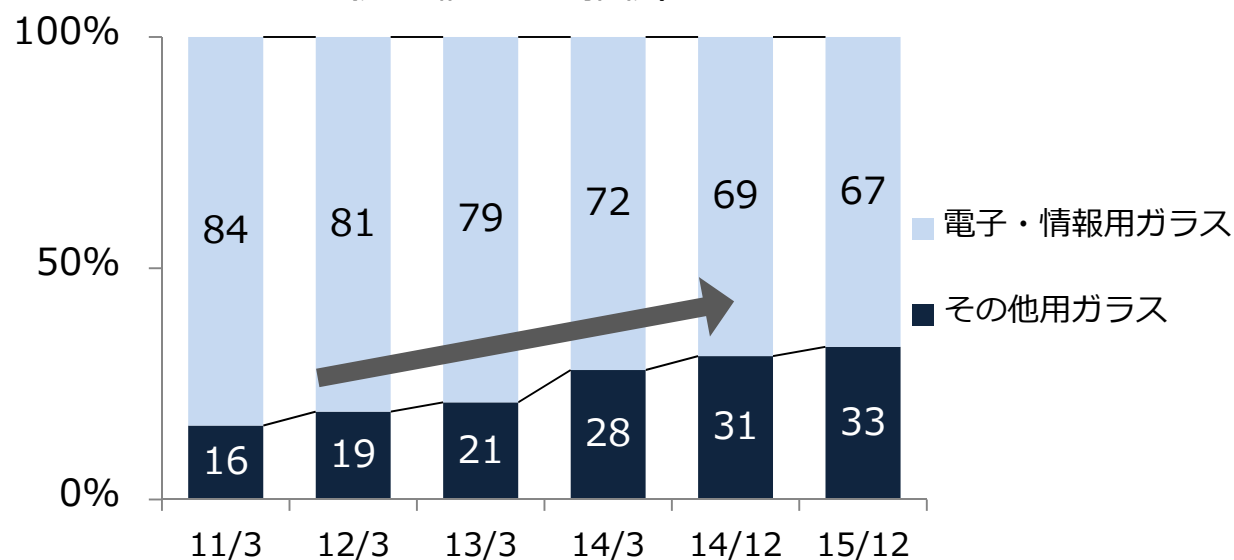


事業分野別の売上高

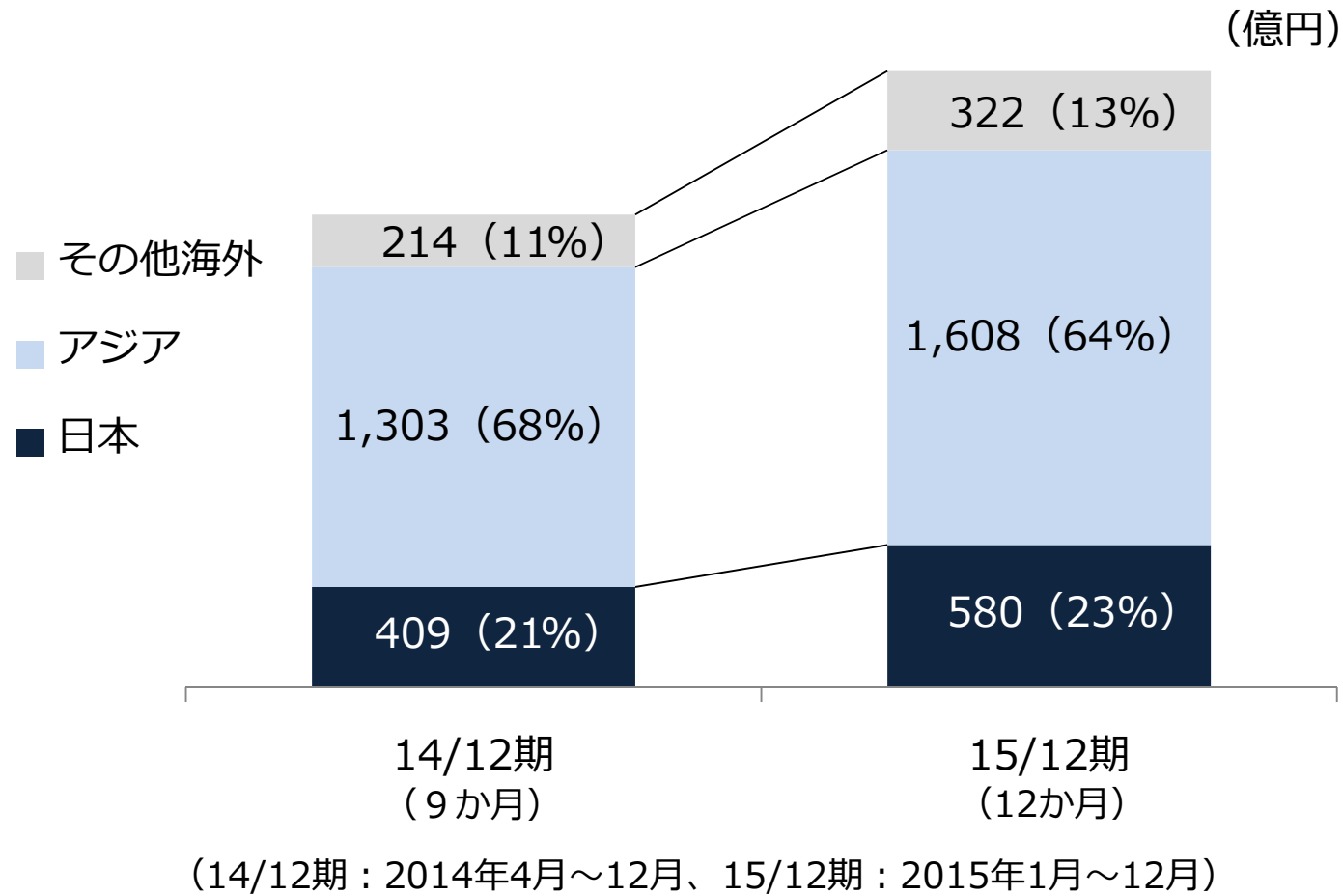
(億円)

		14/12期 (9か月)		15/12期 (12か月)	
		金額	構成比	金額	構成比
ガラス 事業	電子・情報用	1,336	69%	1,670	67%
	その他用	590	31%	841	33%
合計		1,926	100%	2,511	100%

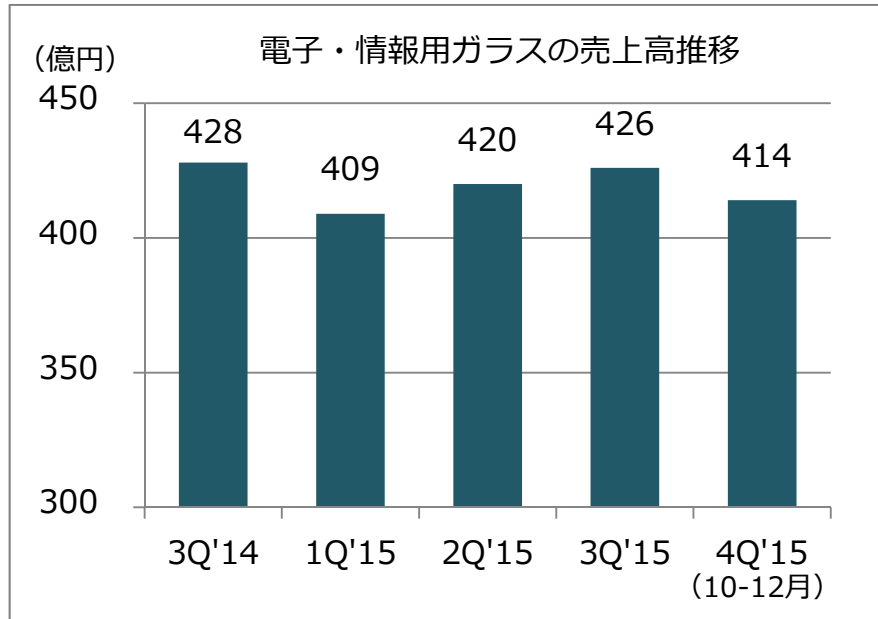
(売上構成比の推移)



地域別の売上高

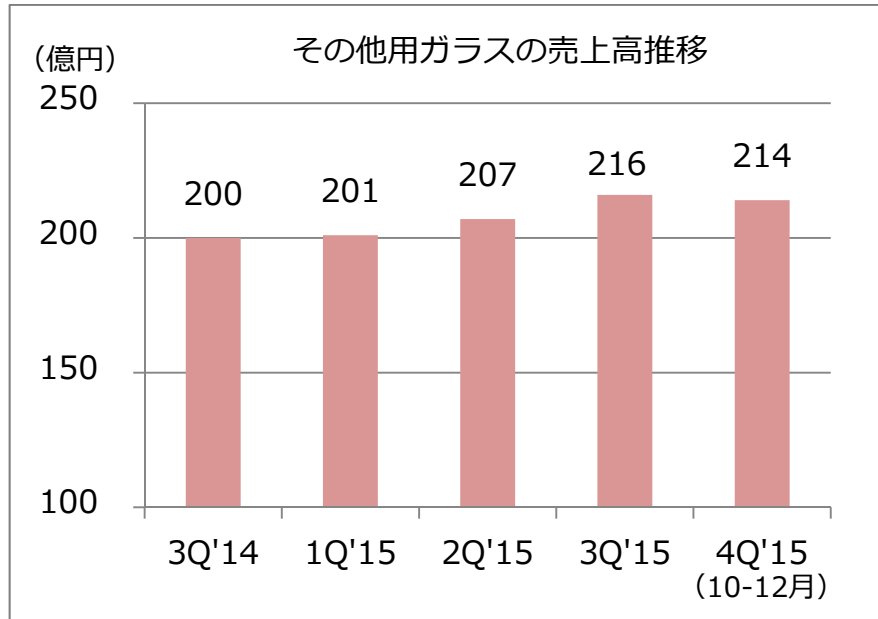


事業分野別の状況 - 電子・情報用ガラス



- 液晶：
 - 安定した出荷が続くも4Qに入り需要鈍化(4Q)
 - 数量：3Q比△1桁前半%の減少
 - 価格：緩やかな下落
- カバーガラス<Dinorex®>：
 - 採用の拡大に伴い出荷増
- 太陽電池用基板：
 - 安定的に推移
- 光・電子デバイス：
 - イメージセンサ用カバーガラス：底堅く推移
 - 光関連：通信インフラ需要の拡大を背景に好調
 - 汎用電子部品向け：安定的に推移
 - その他：蛍光体ガラス<ルミファス®>などの開発品が収益貢献

事業分野別の状況 - その他用ガラス



- ガラスファイバ：
 - アジア需要減速
 - 他の地域は概ね堅調
 - 生産効率向上による利益貢献

- 建築・耐熱・医療：
 - 建築：2Q以降低調な販売が続くも4Qで回復
 - 耐熱：トッププレート用、ストーブ窓用とも海外中心に拡販
 - 医薬用管：中国など海外での拡販

連結貸借対照表

(億円)

	14/12末	15/12末	増減		14/12末	15/12末	増減
流動資産	2,640	2,674	34	負債	2,086	2,071	△14
現金・預金	1,497	1,443	△53	支払手形・買掛金	321	295	△25
受取手形・売掛金	480	473	△6	借入金・社債・CP	1,091	1,097	5
たな卸資産	560	641	81	未払法人税等	13	34	21
その他	101	115	13	特別修繕引当金	328	316	△12
				その他	331	327	△3
固定資産	4,671	4,595	△76	純資産	5,225	5,198	△27
有形固定資産	3,972	3,860	△112	株主資本	4,899	4,936	36
無形固定資産	29	41	12	その他の包括利益累計額	236	195	△40
投資その他	669	693	23	少数株主持分	89	65	△23
合計	7,311	7,269	△42	合計	7,311	7,269	△42

■流動資産

現金・預金（減）：海外子会社における設備取得

たな卸資産（増）：商品及び製品の増加（+）

■固定資産

有形固定資産（減）：海外子会社における設備取得（+）
円高による外貨建て資産の目減り（-）
減価償却費（-）

■負債

特別修繕引当金（減）：設備の修理予定がなくなり戻入（-）

■純資産

株主資本（増）：利益（+）、配当（-）

その他の包括利益累計額（増）：株式評価（+）
為替換算調整（-）

連結キャッシュ・フロー計算書

	14/12期 (9か月)	15/12期 (12か月)
営業活動によるキャッシュ・フロー	388	467
税金等調整前当期純利益	91	167
減価償却費	284	371
売上債権の増減額 (△は増加)	2	△21
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4	△93
仕入債務の増減額 (△は減少)	24	△15
その他	△10	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△292	△326
固定資産の取得による支出	△256	△445
その他	△36	119
財務活動によるキャッシュ・フロー	16	△78
配当金の支払額	△79	△85
その他	96	6
現金等に係る換算差額	10	△22
現金等の増減額 (△は減少)	123	40
決算期変更に伴う現金等の減少額	△63	-
現金等の期末残高	1,298	1,338

(億円)

(営業CF)

- 税金等調整前当期純利益：
増加
- 減価償却費：
高水準の設備投資が続く

(投資CF)

- 固定資産：
海外子会社による資産取得等

(財務CF)

- 配当金：
株主及び少数株主への配当

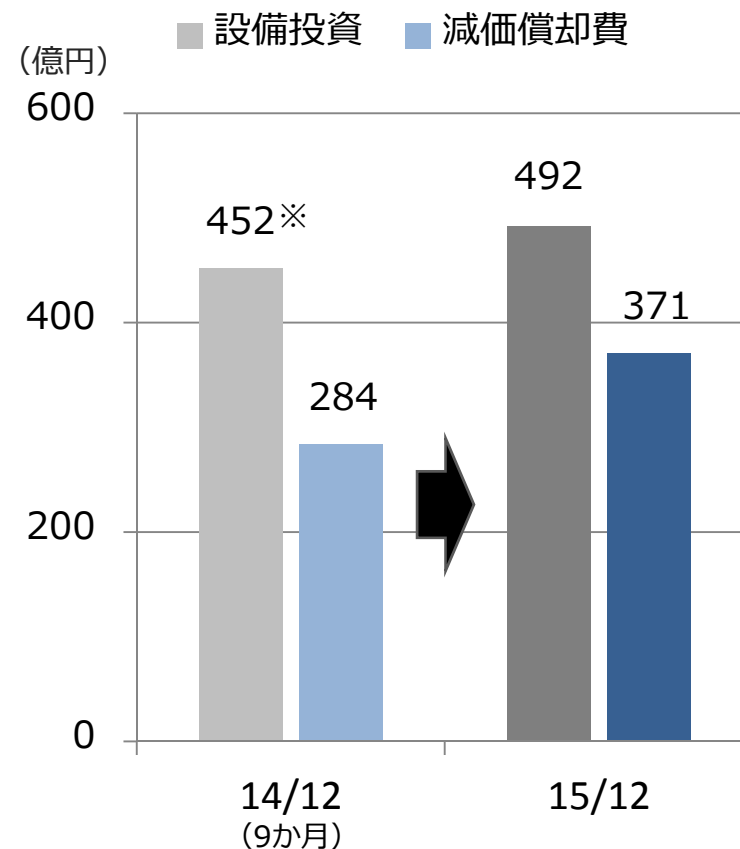
設備投資・減価償却費（連結）

設備投資

- ガラスファイバ、医薬用管ガラスの能力増強（マレーシア）
- 液晶用基板ガラスの海外展開（中国・廈門）
- 新規分野への投資など

減価償却費

- 1 Qから2 Qにかけて増加
- 15/12期：371億円



※海外子会社1～3月の設備投資額を含む

2016年12月期業績予想

(開示区分・業績予想の開示方法の変更について)



✓ 開示区分の名称変更

2016年度から、以下のとおり、製品別の開示区分の名称を変更。

(従来)		(今後)
「電子・情報用ガラス」	→	「電子・情報」
「その他用ガラス」	→	「機能材料・その他」

✓ 業績予想の開示方法の変更

2016年度から、以下のとおり、連結業績予想の開示方法を変更。

(従来)	期 間：	翌四半期連結累計期間・通期
	方 法：	レンジ開示
(今後)	期 間：	第2四半期連結累計期間・通期
	方 法：	特定数値による開示

連結業績予想（1）

（2016年12月期）

（億円）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2Q（累）	1,250	100	90	70
通期	2,560	220	200	160

（前提）

概況	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外：中国の景気動向、米国の金融政策、中東情勢や原油価格の動向など不透明感 ● 日本：雇用・所得環境の改善などにより緩やかに回復。海外の影響に留意
為替	<ul style="list-style-type: none"> ● 想定レート：1ドル=120円、1ユーロ=130円
原燃料	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期比で原油価格下落によるエネルギーコストの低減を見込む

連結業績予想（2）

= 電子・情報 =

ディスプレイ (液晶)

- 16年（暦年）は市場と同程度の成長を見込む
（前年比+1桁半ば%）
- 1Q見込み 数量：季節要因もあり、4Q比△1桁半ば%程度の減少
価格：引き続き緩やかな下落を見込む

カバーガラス (化学強化専用ガラス)

- 中国をはじめ海外での拡販見込む

電子部品

- 光関連…新興国の旺盛な通信インフラ需要が出荷を牽引
- 電子デバイス…家電・自動車等の成長取り込む。新規用途開発・顧客開拓の強化

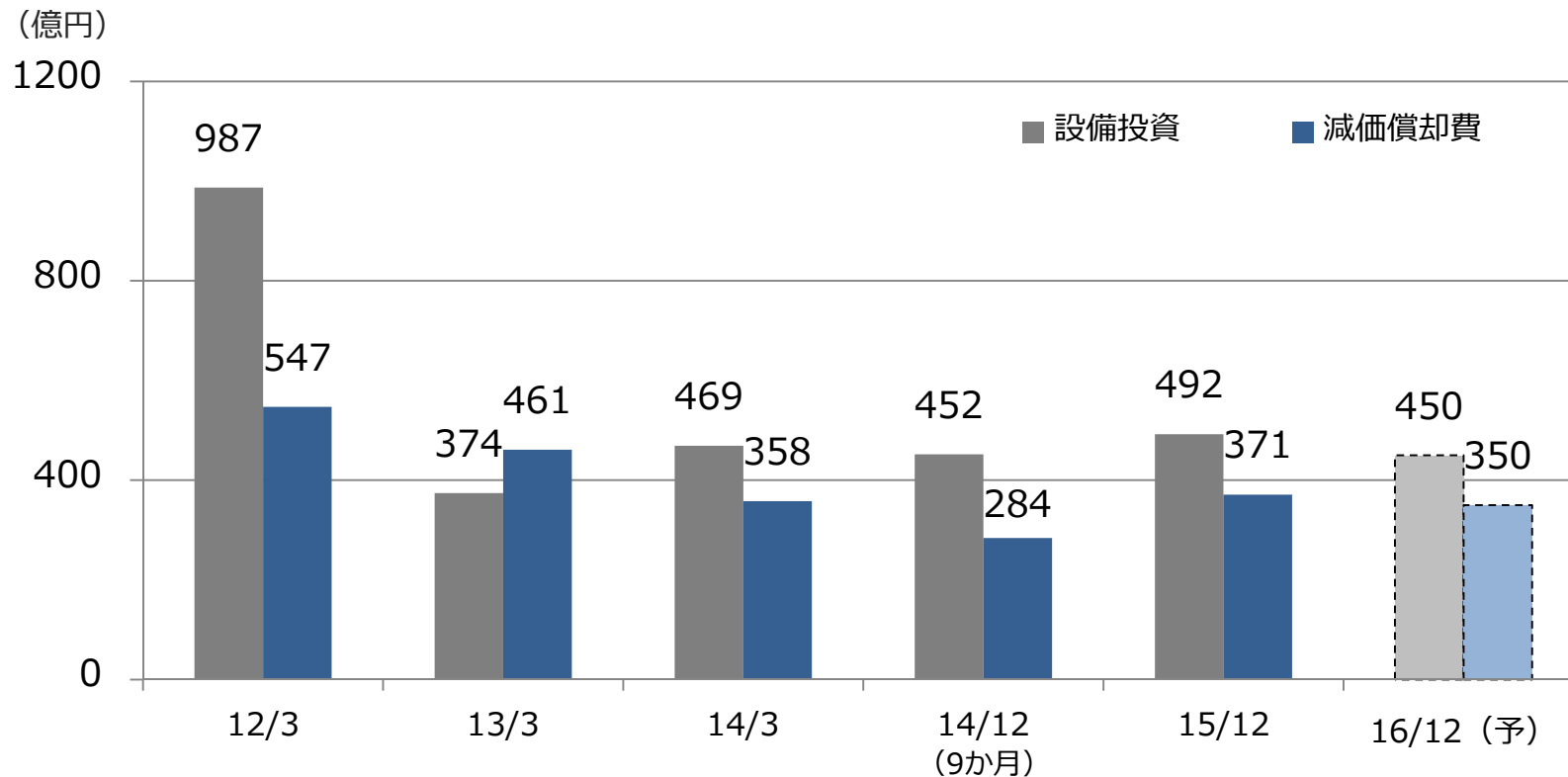
連結業績予想（3）

= 機能材料・その他 =

ガラスファイバ	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車向けを中心に出荷増を見込む （市場拡大とシェア向上）
医薬用管	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国を中心に海外市場での拡販
耐熱	<ul style="list-style-type: none"> ● トッププレート用、ストーブ窓用とも海外拡販
建築	<ul style="list-style-type: none"> ● 用途開発・海外拡販により出荷増を見込む

設備投資・減価償却費の見通し

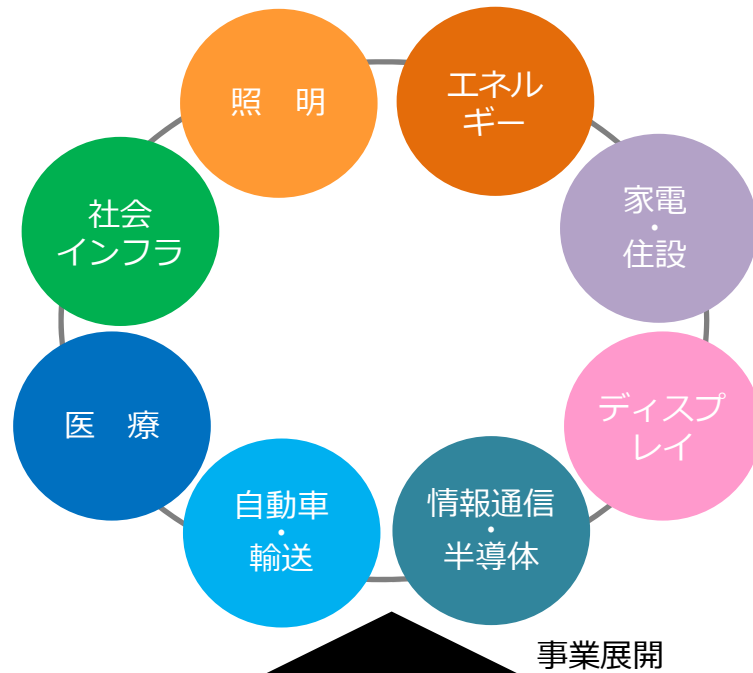
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> ● 450億円程度（完工ベース） ● 液晶用基板ガラスの海外展開（中国・厦門及び南京）、生産性改善や新規分野への投資など
減価償却費	<ul style="list-style-type: none"> ● 350億円程度



(注) 14/12期は、海外子会社の1～3月の設備投資額を含んでいます。

研究開発費の推移

- 最先端の技術（材料設計・製造プロセス技術・評価技術）をベースに高付加価値製品、イノベーティブな製品を追求
- 16年12月期：70億円程度（予定）

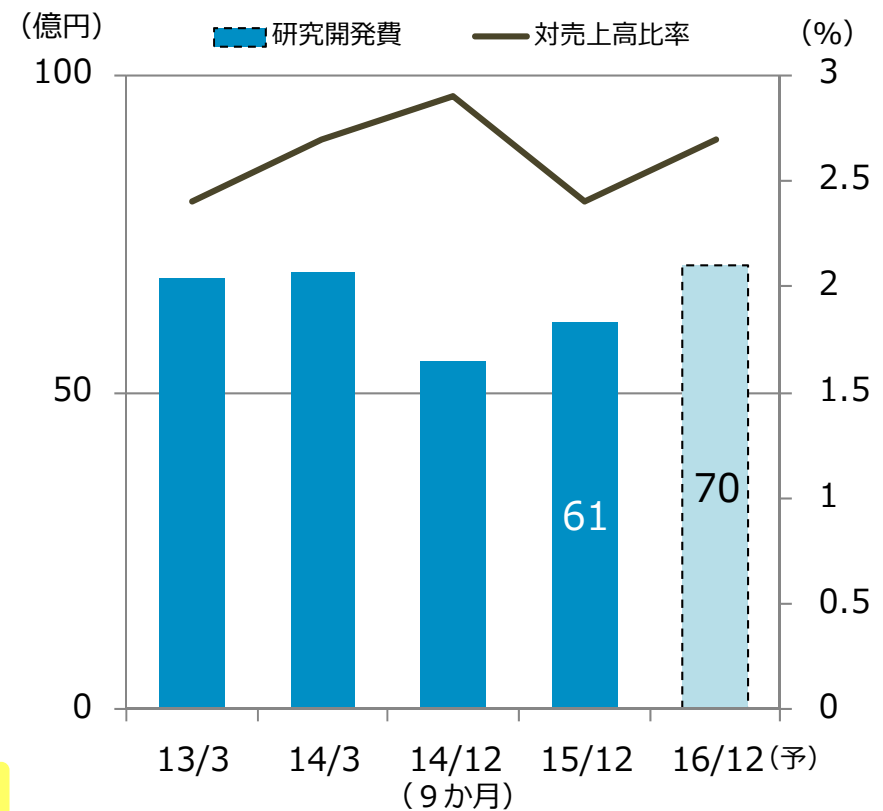


《多種多様な形状と機能を持つガラス》
板・管・球・繊維・粉末・成形品
・ハイブリッド製品

《最先端の技術基盤》

材料設計・製造プロセス技術・評価技術 + 薄膜技術等

研究開発費の推移



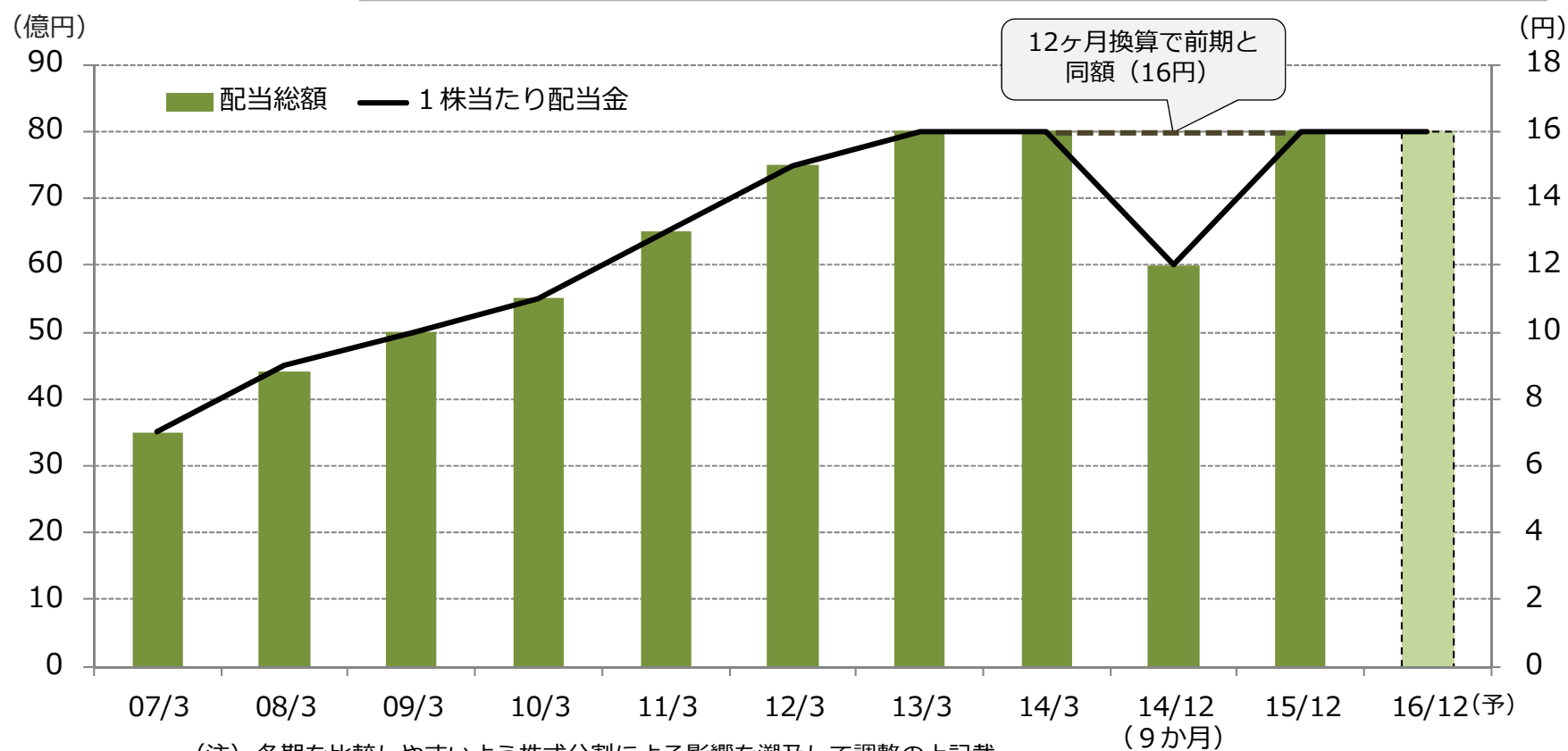
利益配分の基本方針と配当予想

利益配分の基本方針

- 株主還元は安定配当の継続が基本
- 時機に応じて弾力的な株主還元策も検討
- 株主還元とともに、将来を見据えた研究開発や成長投資に積極的に活用

2016年12月期配当予想

- 中間、期末とも、1株につき8円（年間配当16円）



日本電気硝子の概要

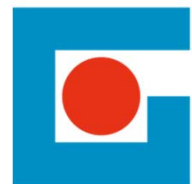
主要な事業内容		
電子・情報	薄型パネルディスプレイ (FPD) 用	液晶ディスプレイ (LCD) 用ガラス 有機 E L ディスプレイ (OLED) 用ガラス
	カバーガラス用	化学強化専用ガラス<Dinorex®>
	光関連	光通信デバイス用キャピラリー・フェルルル 光通信デバイス用レンズ部品 非球面レンズ用硝材<マイクロプリフォーム>
	電子デバイス用	機能性粉末ガラス イメージセンサ用板ガラス 小型電子部品用管ガラス 蛍光体ガラス<ルミファス®>
	太陽電池用	太陽電池用ガラス
機能材料・その他	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド 強化プラスチック用ロービング 自動車用チョップドストランドマット セメント強化用耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用	ガラスブロック 結晶化ガラス建材<ネオパリエ> 防火設備用ガラス<ファイアライト> 超薄板ガラス-樹脂積層体<Lamion®> 超低反射膜付ガラス<見えないガラス>
	耐熱用	超耐熱結晶化ガラス<ネオセラム> 耐熱ガラス<ネオレックス>
	医療用	医薬用管ガラス 放射線遮へい用ガラス<LXプレミアム>
	その他	照明用ガラス 魔法びん用ガラス ガラス製造機械

会社概要	
社名	日本電気硝子株式会社
本店所在地	〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号
創立	1949年12月1日
代表者	取締役会長 有岡雅行 社長 松本元春
資本金	32,155百万円
従業員数	連結5,220名 (15年12月末)
事業内容	特殊ガラスの製品およびガラス製造機械の販売
事業場	大津、滋賀高月、能登川、 若狭上中、精密ガラス加工センター
営業所	大阪、東京
連結子会社	国内 12社 海外 12社 (マレーシア、韓国、中国、台湾、等)

予想に関する留意事項

- ◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。
- ◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

GLASS FOR FUTURE



日本電気硝子

(お問い合わせ)

日本電気硝子株式会社
総務部広報・IR担当

TEL : 077-537-1702 (広報・IR担当直通)
<http://www.neg.co.jp>